

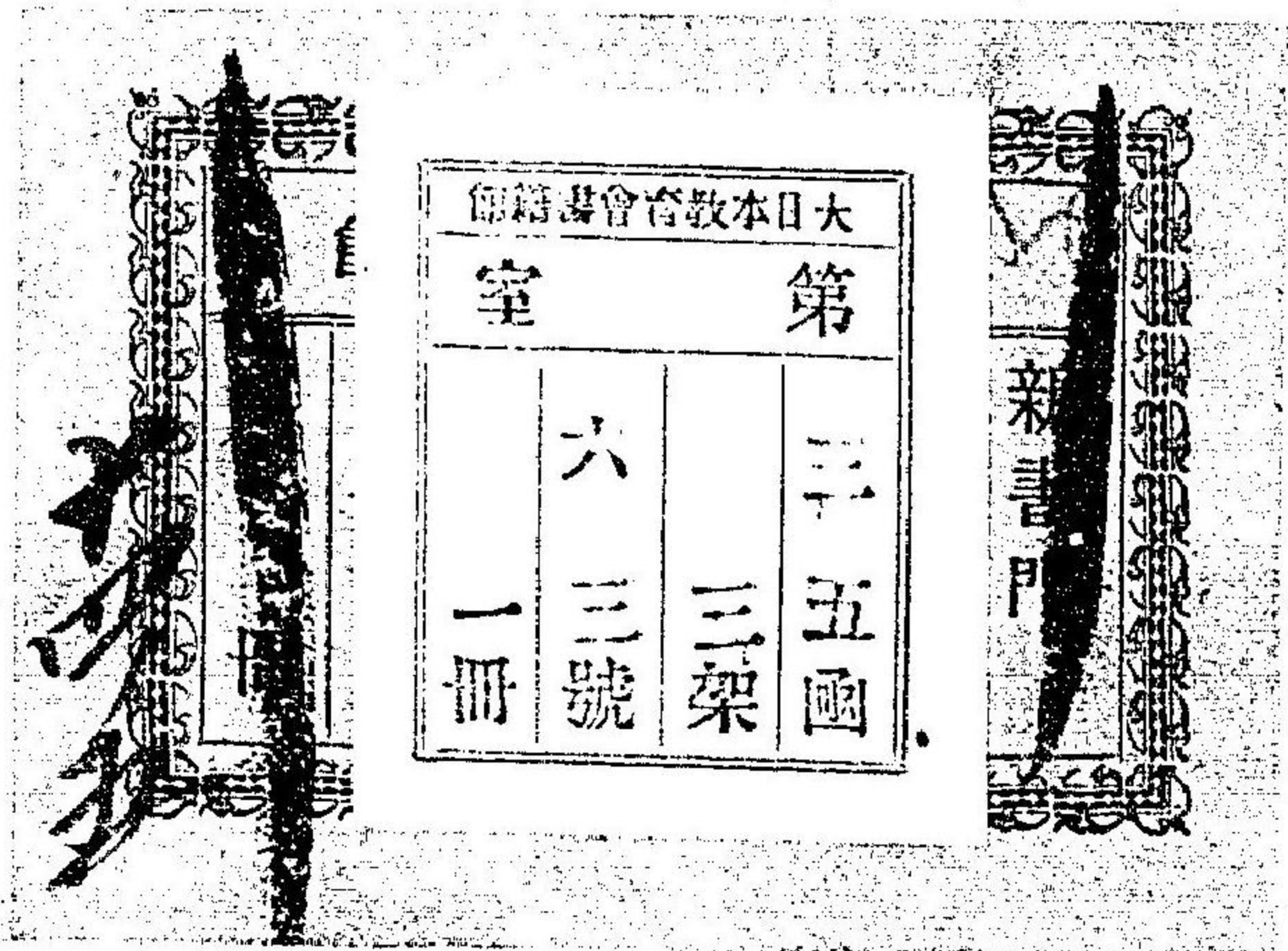
動物小誌

岩川友太郎
白井毅編

全

特 37

533



057598-000-8

特 37-533

動物小誌

白井 毅 / 編

M16

CAR-0186



東京師範學校教諭 理學士 岩川友太郎 閱
東京師範學校附屬小學訓導 白井毅 編

動物小誌

東京 普及舍藏版

動物小誌

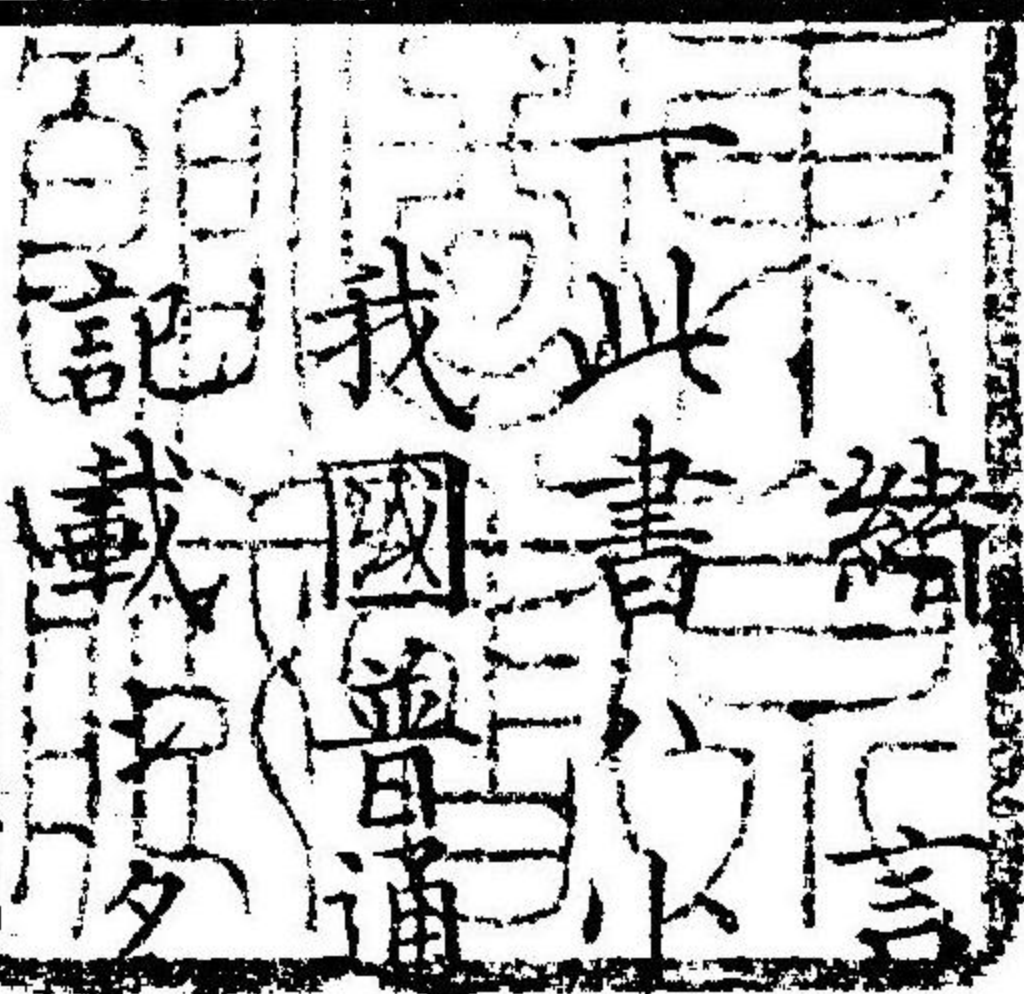
緒言

一此書ハ小學中等科博物教科書ニ供センタメ
我國普通ノ動物若干種ヲ撰擇シテ其大要ヲ
記載シタルモノナリ

一書中全體部分常習効用ノ四綱ヲ掲グト雖凡
全體ノ一綱ハ素大小形狀等不定的ノコトナ
レバ最モ著明ニシテ且要用ナルモノ、外ハ
總テ之ヲ省略セリ看者之ヲ諒セヨ

一此書ハ標品ヲ用井テ教授スルノ主旨ナルガ

動物小誌



學中等科博物教科書ニ供センタメ
ノ動物若干種ヲ撰擇シテ其大要ヲ
ルモノナリ

一書中全體部分常習効用ノ四綱ヲ掲グト雖氏
全體ノ一綱ハ素大小形狀等不定的ノコトナ
レバ最モ著明ニシテ且要用ナルモノ、外ハ
總テ之ヲ省略セリ看者之ヲ諒セヨ
一此書ハ標品ヲ用井テ教授スルノ主旨ナルガ

工工ニ各動物ノ圖ヲ挿入セズ但シ標品ニ乏
キ學校ニテハ適應ノ圖ヲ備フベキハ勿論ナ
リ

一教授ノ方法ハ改正教授術博物ノ部ニ就テ見
ルベシ

一此書ヲ編スルニ當リテ學友根本莞爾君ニ議
リ大ニ得ル所アリ是レ厚ク同君ニ謝シ併セ
テ大方ノ君子ニ告グル所以ナリ

明治十六年八月

編者識

動物小志

一 獸類

(一) サル 獼猴

全體 體格甚ダ人ニ近シ。

部分 頭ハ圓シ。面ハ赤クシテ毛ナシ鼻ハ低ク

シテ鼻孔相接ス。口頭ハ突出シ口ニ唾嚢アリ。

唾嚢ハ食物ヲ含畜スルノ具ナリ。四肢ハ長ク

シテ屈撓自在ナリ。各肢ニ五指ヲ具フ。指端ニ

岩川友太郎 閱
白井毅 編

爪アリ形状宛モ人ノ爪ニ似タリ。四肢ハ殊ニ物ヲ握ルニ適ス。尾ハ短小ナリ。毛ハ内部灰色ニシテ外部褐色ヲ帯ビ密ニシテ柔カナリ。

常習 深山ニ住ミ、果實、根塊、鳥卵、昆蟲等ヲ食トス。性伶俐。舉動敏捷ニシテ樹木ヲ昇降スルコト最モ巧ナリ。

効用 毛皮ハ褥トシ、肉ハ食料ニ供スベシ。

(ニ) ムグラモチ 鼯鼠

全體 長五六寸許ニシテ略圓錐狀ヲナセリ。

部分 頭ハ極メテ小ニシテ尖レリ。口頭ハ上脰

延長シテ鼻頭ニ終レリ。鼻頭ハ堅剛ニシテ自在ニ動揺スルコトヲ得故ニ食物ヲ口ニ入レ或ハ土ヲ掘リテ之ヲ運ブノ具トスベシ。嗅感頗ル鋭敏ナリ。眼ハ極メテ微小ニシテ毛中ニ匿レ、視力極メテ弱シ。耳ハ耳殼ナクシテ見えザレドモ、聽感ハ甚ダ鋭敏ナリ。四肢ハ甚ダ短クシテ地上ヲ行歩スルニ適セザレドモ、土中ヲ匍匐スルニ適ス。前肢ハ強健ニシテ大掌ニ終リ、其位置傾斜シテ脚掌體ノ兩側ニ向ヘリ。肢端ニ五爪アリ、長クシテ窪ミ、略鋏形ヲナス。

故ニ前肢ハ土ヲ穿テ之ヲ體ノ兩側ニ抛ツ
 ニ適ス。後肢ハ前肢ノ如ク強健ナラズ、爪モ亦
 稍、纖弱ナリ。尾ハ短小ナリ。毛ハ黑褐色ニシテ
 短ク、稠密柔軟ニシテ光澤アリ、宛モ天鵞絨ノ
 如シ。毛質此ノ如クナルヲ以テ土中ヲ進行ス
 ルニ便ナリ。

常習 地中ニ穴居シ昆蟲、蚯蚓、蝸牛等ヲ食トス。
 冬月ハ蟄ス。性、日光ヲ忌ミ、晝間ハ地上ニ出ヅ
 ルコトナシ、若シ出ヅルトキハ忽チ死ス。地中
 ニ在リテハ且穿チ且歩ムコト極メテ迅速ナ

リ。

効用

蟲類ヲ除クノ効アレドモ、亦田圃ヲ荒壞
 スルノ害アリ又地下ノ複道ハ排水ノ効アリ
 ト云フ。皮ハ鐵器ヲ拭フニ用井、又ハ膳具ニ作
 ルベシ。

(三)カウモリ

蝙蝠

全體

全體ノ形狀、鼠ニ翅ヲ附ケタルガ如シ。

部分

頭ハ匾平ニシテ、口ハ延長セリ。眼ハ小ナ
 リ、前肢ハ頗ル長クシテ五指アリ、就中、拇指ハ
 甚ダ短クシテ他ノ四指ハ甚ダ長シ、而シテ拇

指ニノミ爪アリテ鉤状ヲナセリ。此拇指ハ峻
 阪ヲ攀ヂ或ハ地上ヲ歩スルニ用井ル。後肢ハ
 前肢ヨリ短クシテ五指ヲ具ヘ各指ニ鉤爪ア
 リ此鉤爪ハ頭ヲ垂レ樹枝或ハ巖窟ニ倒懸ス
 ルニ用井ル。皮膚ハ膜ハ洞ノ兩側ヨリ起リ四肢及
 ビ尾ノ間ニ擴張シ、黒色ニシテ毛ナク、張收自
 在ナリ、故ニ張ルトキハ翅状トナリ空中ヲ飛
 翔スルニ適ス。此膜ハ觸感頗ル鋭敏ナリ。尾ハ
 皮膚中ニ隠レ僅カニ其末端ヲ露ハセリ。毛ハ
 黒褐色ニシテ稠密柔軟ナリ。

常習

古屋巖窟木洞壁間等ニ住ミ、蚊其他ノ飛
 蟲ヲ食トス。性、日光ヲ忌ミ、日中ハ潜伏シ薄暮
 ヨリ出デ、空中ヲ飛翔シ食餌ヲ索ム。其飛翔
 ノ狀、燕ニ似タリ。冬月ニ至レバ蟄シテ出ルコ
 トナシ。

効用

害蟲ヲ食トスルヲ以テ人間及ビ植物ニ
 益スルコト尠少ナラズ。

(四) 子ズミ 鼠

部分

口頭ハ長クシテ尖リ、上下腮ノ前端ニ各
 二枚ノ長クシテ鋭キ齒アリ、此齒ハ發育止ム

時ナシ、故ニ堅物ヲ嚙ミ爲メニ損毀スルモ、忽チ舊ニ復スルナリ。口傍ニ剛ハキ長鬚アリ。後肢ハ前肢ヨリ稍長シ。前肢ニ四指、後肢ニ五指アリ。各指ニ銳キ鈎爪アリ。尾ハ鱗片ニテ蓋ハレ、圓クシテ甚ダ長ク、地ニ曳ク、其長略體長ニ同ジ、毛ハ灰黑色ニシテ短シ。

常習 人家ノ天井ニ住ミ、穀類、蟲類等ヲ食トス。性怯懦ニシテ物ニ恐怖シ易シ。動作敏捷ニシテ柱ヲ攀ダ棟上ヲ匍匐スルコト極メテ神速ナリ。

効用 屋内ノ害蟲ヲ除クノ功アリト雖ドモ亦

家具ヲ傷ツケ、穀類ヲ損スル等ノ大害アリ。

(五)リス 栗鼠

全體 全體家鼠ヨリ大ナリ。

部分 頭部ハ家鼠ニ比スレバ短クシテ廣シ。尾ハ粗糙ナル長毛ヨリ成リテ濶大ナリ、且常ニ背上ニ負ヒテ頂ニ戴ク。其他概シ家鼠ニ同シ。

常習 山林ノ樹上ニ棲ミ、果實ヲ食トス。性家鼠ニ同ジ。樹間ヲ飛行スルコト最モ巧ナリ。

(六)ノウサギ 野兔

部分 耳ハ長大ニシテ隨意ニ動揺ス故ニ何レ

ノ方位ヨリ來ル音響ニテモ能ク聽クコトヲ得ベシ。眼ハ圓大ニシテ凸起シ、周邊ヲ視ルニ適ス。口ハ上唇分裂シ、兩傍ニ長鬚アリ後肢ハ前肢ヨリ長シ、故ニ山ニ上リ又ハ飛躍スルニ適シ、山ヨリ下リ又ハ歩行スルニ適セズ。前肢ニ四指、後肢ニ五指ヲ備フ。尾ハ短シ。毛ハ暗褐色密ニシテ柔カナリ。

常習

山野ニ穴居シ、根、葉、樹皮、果實ノ類ヲ食トス。性怯懦ナリ。

効用

肉ハ食料ニ供シテ美味ナリ。毛皮ハ帽、風

領トシ、毛ハ織物、筆、毫等トスベシ。

(七) カヒウサギ 家兎

家兎ハ野兎ニ比スレバ全體肥大ニシテ、耳及ビ四肢稍短シ。毛色白、黒或ハ斑等各種アリ。其他概子野兎ニ同ジ。故ニ茲ニ贅セズ。

(八) 子コ 猫

部分

頭ハ圓シ。耳ハ薄クシテ三角狀ヲナス。眼ハ黄色ニシテ瞳子ハ縱條ヲナシ、晝ハ小ク夜ハ大ナリ。鼻ハ低シ。口頭ハ短クシテ圓シ。口ニ銳齒ヲ具フ。舌ニハ内方ニ向ヘル小刺密生ス。

此刺ハ骨ニ附着セル肉ヲ舐取セントスルニ當リテ宛モ薑擦子ノ如キ用ヲナスモノナリ。前肢ニ五指、後肢ニ四指アリ、指端ニ屈伸スベキ鋭爪ヲ具フ。尾ハ長シ。毛ハ黑白樺斑等アリ、密ニシテ柔カナリ。

常習

概子人家ニ畜養ス。好ミテ肉類ヲ食ス。晝ハ睡リ夜ニ入レバ處々ヲ徘徊シテ食餌ヲ索ム。鼠ヲ捕フルコト甚ダ巧ナリ。性能ク家ニ馴ル、ト雖ドモ其畜主ニ親馴スルコト速ク犬ニ及バズト云フ。

効用

畜フテ鼠害ヲ防ガシムベシ。革ハ三絃ノ槽ヲ張ルニ用井、毛ハ蒔繪ノ筆毫トナスベシ。
(九) イヌ 犬

全體

長三尺、高二尺許、諸部ノ大小、長短、恰好ニシテ體格甚ダ佳ナリ。

部分

口ノ上下ニ鋭牙ヲ具ヘ、口傍ニ鬚髯アリ。嗅感頗ル鋭敏ニシテ他ノ動物中其右ニ出ヅルモノナシト云フ。耳ハ直立スルモノト垂下スルモノトアリ。前肢ニ五指、後肢ニ四指アリ。指端ニ屈伸スベキ爪ヲ具フ。歩ムニ指頭ヲ以

テス。尾ハ平常上捲セリ。毛ハ白黒樺斑等一ナ
ラズ。皆粗ニシテ剛ハシ。

常習

村里ニ住ミ、肉類ヲ嗜ム。性活潑ニシテ能
ク人ニ馴ル。馴ル、トキハ忠誠ヲ盡ス。物ニ恐
怖スルトキハ吠叫ス。其聲喧シ、一犬吠ユルト
キハ群犬之ニ應ズ。

効用

畜フテ夜ヲ守ラシメ、或ハ狩ニ用井テ効
アリ。革ハ猫皮ニ代ヘテ三絃ノ槽ヲ張ルベシ。
(可)キツ子 狐

全體

體格、犬ニ似テ稍小ナリ。

部分

頭ハ犬頭ニ比スレバ稍大ニシテ、口頭ハ
犬ヨリ尖レリ。瞳子ハ縦狀ヲナシテ猫眼ニ似
タリ。耳ハ直立シテ略三角狀ヲナセリ。鼻感ノ
鋭敏ナルコト殆ド犬ニ同ジ。尾ハ犬ノ尾ヨリ
長クシテ毛甚ダ多ク、常ニ垂下セリ。毛ハ黃色
ニ黒ヲ帶ビ、長クシテ柔カナリ。

常習

人家ニ近キ處ニ自ラ深穴ヲ掘リテ之ニ
住ミ、常ニ小獸、家禽等ヲ食トス。餓ユルトキハ
蛙、蛇等ヲモ食スルコトアリ、又好シテ果實ヲ
食ス。食餌餘剩アルトキハ之ヲ埋藏シ置キテ

他日ノ食料ニ供スト云フ。性甚ダ狡猾ニシテ戒心嚴ニ常ニ盜歩ス。敵ニ追窮セラル、時ハ尾根ヨリ惡臭アル液汁ヲ分泌シ其難ヲ免ルト云フ。啼聲稍悲哀ノ情ヲ含ムガ如シ。

効用

肉ハ食料ニ供スルコトヲ得レドモ一種ノ臭氣ヲ帶ビテ美味ナラズ毛皮ハ帽風領衣服外套ノ裏褌等ヲ製スルニ宜シ。革ハ諸種ノ用ニ供スベシ。

(二) オホカミ 狼

狼ハ其形狀犬ニ類シ敢テ記スベキコトナシ

故ニ左ニ其常習ノ之ニ異ナルモノヲ擧グ。常ニ山野ニ住ミ群居ヲ好ム、性殘虐殊ニ甚シ。餓ユル時ハ同類相食ミ又人ニ迫ルコトアリ。

(三) イタチ 鼬鼠

全體 長壹尺高三寸許ナリ。

部分 頭ハ圓クシテ耳ハ小ナリ。口頭ハ圓クシ

テ兩傍ニ長鬚アリ。頸及ビ胴ハ細クシテ長ク、屈撓自在ナリ、故ニ狹處ヲ經過スルニ便ナリ。四肢ハ甚ダ短シ、是レ亦狹處ヲ經過スルニ便ナリ。尾ハ太クシテ長シ。毛ハ赤褐色ニシテ柔滑ナリ。

常習

人家ノ近傍或ハ原野ニ住ミ、石垣、古窖等ニ巢ヲ作ル。食餌ハ鼠、鳥、魚等トス、但シ鼠、鳥等ヲ食スト云モ、其實ハ肉ヲ食スルニアラズシテ血ヲ吸フモノナリ、故ニ多量ノ食餌ヲ要シ、隨テ害ヲナスコト甚ダシ、是レ貪食ノ名ヲ得ルユヘンナリ。性敏捷ニシテ善ク走り、善ク攀ヅ。敵ノ強迫ニ遇ヒ、遁逃ノ術ナキ時ニ當リテハ、尾根ヨリ一種ノ液ヲ分泌シテ惡臭ヲ放射シ、敵ヲノ其臭氣ニ堪ヘガラシメ、因リテ危難ヲ免ルト云フ。

効用

原野ニ在リテハ、田圃ヲ荒壞スル所ノ鼠類ヲ捕獲シ、大ニ農業ニ功アレドモ、村里ニ在リテハ、家禽ヲ害シ、養魚ヲ盜ミ去ルノ大害アリ。毛皮ハ諸種ノ用ニ供スベシ。

(三) テン 黃鼬

全體、鼬鼠ヨリ大ナリ。毛色黃茶ニシテ光澤アリ。其他ノコト凡テ鼬鼠ノ如シ。

(四) クマ 熊

全體

長五六尺許ニシテ肥大ナリ。

部分

口頭ハ尖レリ。眼ハ圓小ニシテ熒々タリ。

耳ハ直立シテ小ナリ、頸ハ太クシテ短シ。胴ハ肥大ナリ。四肢ハ肥大強健ニシテ各五指アリ。指端ニ長クシテ屈曲セル銳爪ヲ具フ。爪ハ食餌ヲ裂キ、樹ニ登リ、又ハ土ヲ掘ルニ用井ル。後肢ハ前肢ヨリ稍太クシテ長シ。尾ハ短小ナリ。毛ハ黒色ニシテ喉下ニ白色ノ輪斑アリ、俗ニ之ヲ月ノ輪ト云フ。

常習 深山ニ住ミ、根葉果、小獸鳥魚等ヲ食トシ最蟻蜂蜜ヲ嗜ム。餓ユルトキハ昆虫蛇等ヲ食スルコトアリ。冬月ハ巖窟木洞等ニ蟄居ス。性

本ト勇猛ナレドモ平常ハ温和ニシテ懶惰ノ癖アリ。歩ムニ足蹠ヲ以テシ、立ツニ後肢ヲ以テス。其舉動甚ダ遲鈍ナリ、然レドモ一旦事アルニ臨ミテハ動作輕敏ニシテ容易ニ樹木ニ昇降ス。

効用 毛皮ハ褥トシ、肉ハ食料ニ供スベシ。膽ハ醫藥ニ供シテ健胃ノ効アリ。

(五)ウシ牛

部分 頭ハ稍匾クシテ耳ハ遙カニ頭後ニ在リ。角ハ頭ノ兩側ニ位シ、曲リテ新月形ヲナセリ。

輿感頗ル銳敏ニシテ之ニ因リテ食物ノ好惡
 ヲ辨知スト云フ。口頭ハ廣クシテ、口ハ常ニ濕
 ヘリ。頸ハ短クシテ、喉部ニ垂下セル皮アリ。胴
 ハ肥大ナリ。四肢ハ短クシテ強ク、二指雙蹄ヲ
 具ヘ、蹄後ニ二個ノ指跡アリ。尾ハ細長ニシテ、
 末端流蘇狀ヲナセリ。毛ハ短クシテ通常黒色
 ナレドモ、間白褐等アリ、又斑紋アルモノアリ。
常習 人家ニ畜養ス。食物ハ専ラ芻草類トス。動
 作、緩慢ナレドモ能ク勞動ニ堪ユ。外觀愚鈍ナ
 ルガ如クナレドモ其實ハ之ニ反ス。

効用 重ヲ負ヒ、車ヲ牽ク等人世ニ益スルコト
 實ニ大ナリ。肉及ビ乳汁ハ食料ニ供シテ滋味
 アリ。革、骨、蹄ハ諸器具ヲ作り、脂ハ蠟燭、石鹼等
 ニ製シ、膽ハ醫藥ニ供シテ健胃ノ効アリ。
 (六) シカ 鹿

全體 長五尺高三尺許ナリ、但牡ハ稍牝ヨリ大
 ナリ。

部分 牡ニ角アリ、木枝狀ヲナス。耳ハ遙カニ頭
 後ニ在リテ動搖自在ナリ、故ニ後方ヨリ來ル
 音響ヲ聽クニ便ナリ。眼ハ頭ノ兩側ニ在リ。口

ハ小ナリ。頸ハ細長ニシテ胴ハ圓長ナリ。四肢ハ長クシテ各肢ニ雙蹄及ビ一對ノ指跡アリ。尾ハ短小ナリ。毛ハ牡赭赤色ニシテ白斑アリ、牝黃赤色ニシテ白毛ヲ交ユ、共ニ秋季ニ至レバ舊毛脱シテ新毛ヲ生ジ、角モ亦脱換ス。

〔常習〕

山林ニ住ミ、葉芽草類ヲ食トス。性溫和ニシテ怯懦ナリ、故ニ敵ヲ見ルトキハ忽チ遁逃ス。

〔効用〕

肉ハ美味ナレドモ、一種ノ臭氣ヲ帶ブ。革ハ種々ノ用ニ供シテ人ノ賞スル所ナリ。毛ハ

筆毫トスベシ。角ハ彫刻或ハ諸器製作ノ用ニ供スベシ。

(モ) 井ノシ、猪

〔全體〕

全體密著シテ朴野ノ觀ヲ呈ス。

〔部分〕

頭ハ大ニシテ長シ。口頭ハ長クシテ尖リ、鼻頭ニ終レリ。上下兩腮ニ各一對ノ銳キ犬牙アリ、但シ牝ニハ之ヲ缺ク、下腮ノ一對ハ長クシテ口外ニ曲出セリ。犬牙ハ敵ヲ攻撃スルニ緊要ノ具ナリ。鼻ハ長クシテ鼻頭、倔強ナリ。鼻頭ハ自在ニ屈伸シ、土ヲ掘ルニ適ス。嗅感銳敏

ナリ。耳ハ自由ニ動揺シ、眼ハ小ナリ。頸ハ太クシテ甚ダ短シ、故ニ顧視スルコト能ハズ。胴部ハ肥大ナリ。四肢ハ短クシテ強健ナリ。故ニ峻崖、幽谷ヲ馳驅スルニ便ナリ。四肢各、四指アリ、每肢中央ノ二指ニ二蹄ヲ具ヘ、兩側ノ二指ニハ之ヲ具ヘズ。蹄ハ馳驅ニ必須ノ具タリ。尾ハ短小ナリ。毛ハ褐黒色、粗ニシテ剛ハク、針狀ヲナス、殊ニ脊上ニ在ルモノヲ最トス。又耳ノ周圍ニ在ル毛ハ殊ニ長シ。

常習

山野ニ住ミ、果實、草類、蟲類、鼠類、鳥卵等ヲ

食トス。性疎暴、馳驅最迅速ナリ、其走ルヤ直行突進シテ眼前物ナキガ如ク、殆ド當ルベカラザル勢アリ、且ッ怒ルトキハ脊上ノ毛逆立ス、俗ニ之ヲ怒毛ト稱ス。

効用

肉ハ食料ニ供シテ美味ナリ。革、牙等ハ諸

種ノ器具トシ、刺毛ハ刷子ヲ作ルベシ。

(六) ブタ 家猪

部分及ビ常習

鼻及ビ牙ハ野猪ヨリ短シ。毛ハ

白、黒、褐斑等アリ。性頑愚ニシテ從順ナラズ、又汚穢ヲ厭ハガルノ癖アリ、其他ノコト概子野

猪ニ同ジ。

(九)ウマ馬

全體

長六七尺高四五尺許ナリ。

部分

頭上ニ長毛アリテ兩眼ノ間ニ垂ル之ヲ額髮ト稱ス耳ハ前ニ向ヒテ立チ動揺自在ナリ。眼ハ大ニシテ光輝アリ。口頭ハ圓シ。上唇ハ動揺伸縮自在ニシテ食物ヲ拾取スルニ便ナリ。頸ハ匾クシテ長シ故ニ地上ニ在ル食物ヲ取ルニ便ナリ。頸上ニ長毛アリテ兩側ニ垂ル之ヲ鬣ト名ヅク。胸ハ圓長ニシテ四肢ハ細長

ナリ。後肢ハ甚ダ強クシテ物ヲ蹴ルニ適ス。各肢ニ一指單蹄ヲ具フ。尾ハ長毛ヨリ成リ頗ル壯麗ナリ。毛ハ額髮鬣及ビ尾毛ヲ除クノ外總ベテ短シ。色褐白黒等種々アリ。

常習

人家ニ畜養ス。專ラ芻草類ヲ食トス。性從順氣力強壯親馴スルトキハ忠誠ヲ盡ス。馳行甚ダ速カナリ。

効用

人ヲ騎セ、車ヲ牽キ、重ヲ負フ等人世ニ功アルコト實ニ大ナリ。革ハ牛革ト用ヲ同ウス。尾毛ハ編物、刷子ヲ作ルニ用井、又ハ釣糸トナ

ス蹄ハ玳瑁ニ代用スベシ。

(ニ)セミクジラ 鯨魚

全體

全體魚ニ似テ鱗毛ナク、黒色ニシテ略紡錘狀ヲナシ、長四五丈ヨリ七八丈ニ至ル、動物中最大ナルモノトス。

部分

頭ハ巨大ニシテ、洞ニ密著シ、大全體ノ四分一ニ居ル。頭上ニ二個ノ噴孔アリ、是レ呼吸ニ用井ルノ具ナリ。眼ハ頭ノ兩側ニ在リテ小ナリ。口ハ弓狀ニ開裂シ、甚ダ大ナリ、口内ニ齒ナシ、之ニ代フルニ鯨鬚ト稱スルモノ、上腮ヨ

リ垂下シ、其數無慮三百餘、形狀恰モ簾ヲ垂ル、ガ如シ、此鬚ハ巨大ノ食餌ヲ拒絶スルノ用ヲナスモノニシテ、恰モ篩ノ目ニ於ケルガ如シ。洞ハ圓大ニシテ、後部ニ至ルニ從ヒ漸ク小ナリ。前肢ハ鱗狀ヲナシ、指爪ナシ。尾ハ形狀魚尾ニ似タレドモ、其位置之ニ反ス、即チ魚尾ハ縱直ナレドモ、鯨尾ハ水平ナリ、尾ニハ頗ル力アリテ、小舩ヲ覆没スルコト往々之アリ、漁夫ノ最警戒スル所タリ。

常習

大海ニ住ミ、微小ノ魚介類ヲ食トス。性温

和ニシテ游泳スルコト速カナリ、呼吸センガ
タメ時ヲ定メテ水面ニ浮ブ。

効用 肉ハ食料ニ供スベシ。脂ハ燈油ヲ製シ、鯨
鬚ハ種々ノ器具ヲ製スベシ。

(二) 鳥類

(一) トビ 鳶

部分 嘴ハ淡黒色、太クシテ短ク、甚ダ強固ナリ、
上顎ノ末端鈎曲シ、銳利ナリ、又上顎ニ齒アリ。
眼ハ圓ク、上縁隆起シテ眉狀ヲナシ、視力甚ダ

銳敏ナリ。翼ハ大ナリ。脚ハ黄色、短クシテ強ク、
上部ハ羽毛ニテ蓋ハレ、四趾アリ、前趾三個、後
趾一個、共ニ屈伸自在ナリ、各趾ニ銳利ナル鈎
爪ヲ具フ。尾ハ叉狀ヲナス。羽毛ハニ鳶ハ黝ク白ク相雜
ハリテ斑ヲナス。
緑色

常習 好ミテ海濱ニ近キ村里ニ住ミ、蛇、蛙、魚類、
腐肉等ヲ食トス。性怯懦ナリ、又中天ニ舞フテ
食餌ヲ瞰ルノ習慣アリ。

効用 腐肉ヲ除去スルノ効アリ。

(二) ハヤブサ 隼

部分 大抵、鳶ニ同ジ、只羽毛、背部、灰黒、腹部、黑白相交ハリテ斑ヲナス。

常習 森林ニ棲ミ、鳥類、小獸等ヲ攫殺シテ食餌トナス。性、勇猛ナリ。

(三) フクロフ 鴉

部分 頭ハ大ナリ。嘴ハ黄色ニシテ甚ダ短シ、上腮ハ下腮ヨリ長ク、鋭クシテ鈎曲セリ。鼻孔ハ上腮ノ根部ニ在リテ其周圍ニ柔カナル皮アリ。眼ハ前面ニ在リ、圓大ニシテ威アリ、且細密ナル羽毛、眼ノ周圍ヨリ發生シテ圓盤狀ヲナ

セリ。脚ハ羽毛ニテ被ハレ、纜ニ爪ヲ露ハス、四趾アリ、前趾三個、後趾一個、爪ハ大ニシテ鋭ク、鈎曲セリ。羽毛ハ褐色ニシテ斑アリ、甚ダ密ニシテ柔カナリ。

常習 晝ハ森林、木洞或ハ林間ノ巖窟等ニ潜伏シ、夜ハ出デ、鼠類又ハ小鳥類ヲ捕獲シテ食餌トス。羽毛柔軟ナルヲ以テ飛ブニ音響ヲ發セズ。

効用 田圃ヲ荒壞スル所ノ有害動物ヲ除クノ効アリ。又肉ハ食料ニ供スベシ。

(四) ツバメ 燕

部分 嘴ハ黒色、扁クシテ短ク、本廣ク末尖リ、略三角状ヲナセリ、又口ハ深ク開裂セリ。眼ハ黒クシテ小ナリ。翼ハ長大ニシテ尖リ、甚ダ強シ。脚ハ細クシテ短ク、前趾三個、後趾一個アリ、爪ハ細銳ニシテ鈎曲セリ。尾ハ濶クシテ甚シク岐分セリ。羽毛ハ翼黒ク、頸及ビ脊、黒ニ藍ヲ帯ビ、喉及ビ額、樺腹白ク、尾黒クシテ大ナル白斑アリ。

常習 性、暖ヲ好ミ、春來リ、秋去ル。常ニ空中ヲ飛

翔ニ、地ニ下ルコト稀ナリ、其飛翔スルヤ左折右曲頗ル敏捷ニシテ、且飛行中蟲ヲ捕ルコト甚ダ巧ナリ。其巢ヲ作ルヤ人家ノ檐ニ於テス。

効用 害蟲ヲ除クノ効アリ。

(五) スバメ 雀

部分 嘴ハ本太ク、末尖リ、圓錐形ヲナス。脚ハ細小ニシテ前趾三個、後趾一個アリ。羽毛ハ背、褐色ニ黒斑アリ、腹、灰白色、雄ノ喉ハ概子黒色ナリ。

常習 村里ノ樹林或ハ堂社ノ檐等ニ棲ニ、穀物

昆蟲等ヲ食トス。性群居ヲ好ミ、鳴聲絶ユルト
キナシ。

効用 肉ハ食料ニ供スベシ。田野ニ群飛シテ穀

物ヲ害スルコト少ナカラズト雖ドモ、亦果樹
ノ害蟲ヲ除去スルノ効アリ。

(六)モズ 伯勞

部分 嘴ハ淡黒色圓錐狀、匾クシテ強剛ナリ、上

腮ハ齒ヲ具ヘ、端末鉤曲シ、銳利ナリ、嘴ノ兩側

ニ粗毛アリ。眼ハ黒クシテ圓大ナリ、翼ハ短シ

脚ハ黒クシテ前趾三個、後趾一個アリ、爪ハ銳

利ナリ。尾ハ長シ。羽毛、眼邊、黒色、頭、頸、濃赤褐色、
脊、淡赤褐色、翼、淡黒色ニシテ褐條アリ、喉、及ビ
腹、白色、胸、赤褐色ニシテ小波紋アリ。

常習 森林ニ棲ミ、常ニ樹梢ノ頂ニ止リ、食餌ヲ

注視ス、食餌ハ小蟲、小鳥等ナリ、食餌、殘餘アル

トキハ之ヲ荆棘ニ懸ケ置キテ他日ノ用ニ供

フト云フ、性鷹ニ次テ勇猛ナリ。

(七)カラス 慈鳥

部分 嘴ハ黒クシテ太ク、末尖リテ少シク鉤曲

セリ、兩腮ノ縁邊、銳利ナリ。鼻孔ハ細長ナル剛

毛ニテ蓋ハル翼ハ長クシテ末尖レリ。脚ハ短クシテ四趾アリ、三趾ハ前ニ向ヒ、一趾ハ後ニ向ヒ、共ニ鈎曲セル銳爪ヲ具フ。羽毛ハ黒色ニシテ光澤アリ。

〔常習〕

人家ニ近キ森林ニ棲ミ、小獸、果實及ビ諸種ノ腐敗物等ヲ食トス。性、伶俐ニシテ群居ヲ好ミ、常ニ非常ヲ警戒ス、又人ニ馴レ易シ。

〔効用〕

腐敗物、有害動物ヲ除クノ効アレドモ、亦田畝ヲ害スルコト甚シ。

(八) ヒヨドリ、鶉

〔部分〕

頭頂ニ亂起セザル羽毛アリ。嘴ハ黒クシテ銳シ。脚ハ細クシテ短ク、前趾三個、後趾一個アリ。尾ハ長シ。羽毛、眼邊微赤、脊、蒼白、胸、灰青ニ黒斑アリ、腹、灰白ニ黒斑アリ。

〔常習〕

山林ニ住ミ、小果實ヲ食トス。飛翔速カナリ。鳴聲、キイ、トシテ喧シ。

(九) ウグヒス 柴鶉

〔部分〕

嘴ハ細クシテ尖レリ。翼ハ長クシテ體後ニ出ヅ。脚ハ長クシテ前趾三個、後趾一個アリ。尾ハ長クシテ殆體長ニ等シ。羽毛ハ頭背、翼、共

ニ赤褐色ニシテ稍緑ヲ帶ブ、世ニ「ウグヒス」茶ト稱スル色、即チ是ナリ、腹白クシテ灰ヲ帶ブ。
常習 藪林ニ棲ミ、小蟲ヲ食トス。立春ノ候始メテ轉ズ、其聲急ニシテ長シ。

効用 聲音清亮ニシテ人耳ヲ娛マシム。

(一) ホト、ギス 杜鵑

部分 嘴ハ黒クシテ細ク、匾ナリ。翼ハ長クシテ尖レリ。脚ハ短クシテ黄ナリ、前趾三個、後趾一個アリ。尾ハ長クシテ殆ド體長ニ等シ、羽毛ハ脊、灰黒色ニシテ小キ白紋アリ、腹、白色ニシテ

黒紋アリ、尾、黒色ニシテ小キ白紋アリ。

常習 暖地ノ林中ニ棲ミ、殊ニ閑所ヲ好ム。食餌ハ小蟲類ナリ。春暮始メテ鳴ク、其聲、愛スベシ。飛行、輕快ナレドモ逆風ニ堪ヘズ。自ラ巢ヲ營マズ、他鳥就中、柴鶴領ノ巢ヲ索メ、其卵ヲ除キ去リ、自ラ之ニ卵ヲ生ミ、之ヲシテ雛化セシムト云フ。

(二) チトリ 家雞

部分 肉冠ハ頭上ニ在リテ赤色ナリ、但雄ノ冠ハ殊ニ大ニシテ邊緣、鋸齒狀ヲナス。垂肉ハ下

腮ノ兩側ニ在リ、其色冠ニ同ジ、但雄ノ垂肉ハ雌ノ垂肉ヨリ大ナリ。翼ハ短弱ニシテ飛翔ニ適セズ。脚ハ強健ニシテ四趾アリ、三趾ハ前ニ向ヒ、一趾ハ後ニ向ヘリ、又雄ニハ距アリ、距ハ鬪争ノ具ナリ。雄ノ尾ハ長ク、弓状ヲナシテ下垂セリ。雌ノ尾ハ短クシテ稍上ニ向ヘリ。羽毛ハ色種々アリテ雄ハ殊ニ美麗ナリ。

常習 人家ニ畜養ス、専ラ穀類、小蟲等ヲ食トス。性雄ハ勇氣アリ、雌ハ溫和ニシテ雛ヲ愛スルノ心甚ダ深シ。又土芥ヲ搔キ亂シテ食物ヲ索

ムルノ習慣アリ。

効用 雄雞ハ時ヲ定メテ鳴ク、故ニ之ニ因リテ時刻ヲト知スベシ。肉、卵ハ食料ニ供シテ美味ナリ、羽毛ハ拂子、羽子等ヲ作ルベシ。

(三) キジ 雉

部分 雄ニハ頭ニ毛冠アリ。眼ノ周邊及ビ頬ニハ羽毛ナク、赤色ノ皮膚ヲ露ハセリ。嘴ハ短クシテ強健ナリ。耳孔ハ赤色ノ皮膚中ニ在リ、翼ハ短小ニシテ強健ナリ。脚ハ前趾三、後趾一アリ、爪ハ短クシテ強ク、土ヲ掘ルニ適ス。雄ニハ

距アリ。尾ハ長クシテ末端漸ク尖レリ。但雌ノ尾ハ雄ニ比スレバ短シ。羽毛ハ翠黒色、紫色、褐色、赤色等ヲ交ヘ、尾羽ニハ黒キ横紋アリ、色澤ノ美麗ナルコト鳥類中多ク見ザル所ナリ。但雌ハ雄ノ如ク美麗ナラズシテ黒褐色ニ黒斑アリ。

常習

山谷或ハ原野ニ住ミ、穀類、蟲類等ヲ食トス、又蛇ヲ食フト云フ。性怯懦ナリ。

効用

肉ハ食料ニ供シテ美味ナリ。羽毛ハ飾具トスベシ。

(三) マナヅル 鷓鴣

全體

高四五尺長三尺許ナリ。

部分

嘴ハ長クシテ尖レリ。頸及ビ脚ハ甚ダ長シ、脛ノ四分一ハ六角形ノ鱗片ニテ蓋ハル、又四趾及ビ短キ蹠アリ。翼ハ長クシテ末尖レリ。尾ハ甚ダ短シ。羽毛ハ灰色ナリ。

常習

河沼池湖等ノ近傍ニ棲ミ、爬蟲、魚類、小蟲等ヲ食トス。性寒地ヲ好ミ、秋來リ、春去ル、其飛行スルヤ數多ノ群ヲナシ、一群毎ニ一鳥之ヲ先導セリ。

効用 肉ハ食料ニ供シテ美味ナリ、羽ハ箭羽或

ハ羽箒トスベシ。

(四) シラサギ 鷺

部分 頂ニ長毛アリ。嘴ハ黒クシテ長ク、水中ニ

在ル食餌ヲ取ルニ適ス。頸ハ細クシテ長シ。翼

ハ長シ。脚ハ黒クシテ甚ダ長ク、水ヲ涉ルニ適

ス。前趾三個、後趾一個アリ、黄ニシテ長ク、蹠ナ

シ。尾ハ短シ。羽毛白色ニシテ柔カナリ。

常習 閑靜ナル山野ニ住ミ、小魚ヲ食餌トナス。

性群居ヲ好ム。淺水ヲ涉ルコト巧ナリ。

効用 肉ハ食料トスベシ。羽毛モ亦用ニ供スベ

シ。

(五) アヒル 鶩

部分 嘴ハ匾平ニシテ形狀篋ノ如シ、上腮ハ稍

隆起シ、端末ニ一種ノ剛質ヲ具ス、下腮ハ殆平

ナリ、上下兩腮ノ相合フ處、細齒狀ヲナス、是レ

食物ヲ漉取スルノ具ナリ。鼻孔ハ嘴ノ上ニ在

リテ橢圓ナリ。眼ハ黒クシテ凸出セリ。頸ハ甚

ダ長シ。胴ハ匾ニシテ略船狀ヲナス。翼ハ小ニ

シテ略三角狀ヲナス。脚ハ胴ノ中央ヨリ稍後

部ニ位シ、短クシテ四趾アリ、三趾ハ前ニ向ヒ、一趾ハ後ニ向ヒ且小ナリ、前趾ノ間ニ膜アリ、之ヲ蹼ト云フ、蹼ハ游泳ニ用井ルノ具ナリ、尾ハ極メテ短小ナリ、雄ノ尾ハ上ニ向ヒテ捲縮セリ、羽毛ハ平滑、緻密ナリ、又尾ノ根部ニ脂囊アリ、時々嘴ヲ以テ脂ヲ全身ニ塗擦ス、故ニ水ニ入ルモ濕氣ヲ帶ブルコトナシ、其色種々アリ、雄ノ頭及ビ頸ノ上部ハ殊ニ美麗ナリ。

常習

人家ニ畜養ス、穀類、魚類、蟲類等ヲ食トス、性水ヲ好ミ、常ニ池澤ニ游泳シテ食餌ヲ索ム、

鳴聲、鶯々トシテ聞クニ堪ヘズ、雌ハ雛ヲ愛スルノ心、少シ、故ニ其卵ヲ取リテ雌雞ニ聊サシムルヲ常トス。

効用

肉及ビ卵ハ食料ニ供スベシ、但卵ハ少シク臭氣ヲ帶ビテ雞卵ノ如ク美味ナラズ。

(云)ガソ 雁

形狀、鶩ニ同ジク、常習之ニ異ナル所アリ。此鳥ハ寒地ヲ好ミ、春去リ、秋來ル、其飛翔スルヤ必ズ群ヲナシテ斜行ス、世ニ之ヲ雁行ト稱ス。

三 爬蟲類

(一) イシガメ 水龜

部分 頭ハ尖小、頸ハ伸縮自在ナリ。口ニ齒ナシ。

背腹ニ甲殼アリテ相抱合セリ、甲殼ハ數多ノ甲片ヨリ成リ、堅硬ナリ、但背甲ハ腹甲ニ比スレバ隆起セリ。四肢ハ短久、五趾ヲ具ヘ、趾間ニ蹠アリ、趾端ニ爪アリ。尾ハ尖小ナリ。

常習 夏月ハ河湖沼澤等ニ住ミ、小蟲等ヲ食トス。冬月ニ至レバ蟄居ス。性溫和ニシテ動作遲緩ナリ。敵ニ遇フキハ首尾及ビ四肢ヲ甲中ニ

藏ム。

効用 甲ハ琢磨シテ小器具ヲ作ルベシト雖ド

モ鼈甲ニ及バズ。

(二) カナヘビ 石龍子、一種

全體 圓筒狀ニシテ兩端尖小ナリ。

部分 口頭ハ尖リテ略、三角形ヲナス。舌ハ細長ニシテ末端分レテ二條トナル。鼻ハ口頭ノ兩

側ニ在リ。眼ハ瞼ヲ具フ。耳ハ頭後ノ兩側ニ在リ。四肢ハ短小ニシテ前後ノ兩肢、近接シ、後肢ハ前肢ニ比スレバ稍短シ、各肢ニ五趾、五爪ヲ

具フ。尾ハ甚ダ長クシテ末端漸ク尖レリ。鱗ハ腹部ニ在ルモノ大ニシテ頸及ビ四肢ニ在ルモノ小ナリ、其色背茶ニシテ兩側黑白ノ條アリ、腹ハ白シ。

〔常習〕

叢中又ハ石垣ノ間ニ住ミ、専ラ小蟲ヲ食トス。冬月ニ至レバ蟄伏ス。動作敏捷ナリ。

〔効用〕

夏月人ノ厭惡スル所ノ小蟲ヲ除ク。

(三) ヤモリ 守宮

〔全體〕

扁平ニシテ數多ノ疣アリテ醜形ナリ。

〔部分〕

頭ハ「カナヘビ」ニ比スレバ稍濶大ナリ。舌

ハ厚クシテ短シ。眼ハ光輝アリテ夜間善ク視ユ。四肢ハ五趾ヲ具ヘ、趾端ニ細微ナル爪アリ、趾底ハ物ニ吸著スルニ適ス。鱗ハ極メテ細密ニシテ鼠色ナリ。

〔常習〕

壁間ニ住ミ、小蟲ヲ食トス。其食餌ヲ捕獲セントスル時ハ先ツ之ヲ注視シ、視準定リテ後、一躍シテ之ヲ取ル、其狀猫ノ鼠ヲ取ルガ如シ、只猫ハ攫ムニ爪ヲ用井、守宮ハ口ヲ用井ルノ差アリ。冬月ハ蟄居ス。

〔効用〕

「カナヘビ」ニ同ジ。

(四) アヲガヘル 又。トノサマガヘル 金錢蛙

全體 滑カニシテ鱗毛ナク、背、綠色ニ三個ノ黃

條ト黑色ノ斑點トアリ、腹、白色ナリ。

部分 口ハ甚ダ大ニシテ口頭ハ尖レリ。舌ハ甚

ダ大ニシテ下腮ノ前部ニ附著ス。鼻孔ハ口頭

ニ在リテ小ナリ。眼ハ大ニシテ熒々タリ、且周

邊ニ金色ノ環アリ、耳ハ外部ニ顯ハル。後肢ハ

前肢ヨリ長シ、前肢ニ四趾、後肢ニ五趾アリ、又

蹠ヲ具フ。

常習 水邊ニ住ミ、小蟲ヲ食トス。性、最モ蛇ヲ畏

ル。雄ノミ鳴ク其聲大ニシテ喧シ。幼時ヲ蝌蚪

ト稱シ、尾アリテ足ナシ、成長スルニ隨ヒ、尾ヲ

脱シテ足ヲ生ズ。

効用 害虫ヲ除クノ効アルヲ以テ園庭ニハ有

用ノモノナリ。

(五) 井モリ 蝶蟪

全體 滑カニシテ鱗毛ナク、脊、黒ク、腹、赤シ。形状

カナヘビニ類ス、然レバ亦、大ニ異ナル所アリ。

部分 前後ノ兩肢、同長ニシテ前肢ニ四趾、後肢

ニ五趾アリ。尾ハ扁クシテ長シ。

〔常習〕

常ニ水中ニ住ミ、蟲類ヲ食トス。之ニ觸ル、トキハ一種ノ臭氣ヲ發ス、是レ難ヲ避ケンガタメナリ。

(六) アヲダイシヤウ 黃頷蛇

〔全體〕

圓長ニシテ屈撓自在ナリ。

〔部分〕

口ハ巨大ニシテ銳キ齒牙ヲ具フ、此齒牙ハ内方ニ鈎曲セルヲ以テ食餌ヲ保持スルニ適シ、咀嚼ノ用ヲナサズ。鱗ハ角質ニシテ滑カナリ、其色青シ。

〔常習〕

夏月ハ叢中ニ潜伏シ、鼠蛙等ヲ捕ヘテ食

餌トナス。冬月ニ至レバ蟄居ス。性、柔和ニシテ人ノ害ヲナサズ。平常ハ蟠屈シテ圈ヲナス、其匍匐スルヤ甚ダ速カナリ。

(七) マムシ 蝮蛇

全體部分、常習等黃頷蛇ニ類ス。故ニ惟其差異ノ諸點ヲ掲クルコト左ノ如シ。頭ハ濶大ニシテ三角狀ニ近シ。口ニハ數多ノ細齒ト二個ノ毒牙アリ、此牙ハ上顎ノ前端ニ在リテ平常潜伏シ、用井ル時ニノミ、起立スルモノナリ。色背ハ青ニ褐斑アリ、腹ハ黑白褐混交セリ。性猛、屢

人ヲ嚙ムコトアリ。

効用

毒牙ヨリ分泌スル所ノ液ハ大毒アリ、故ニ之ニ嚙マル、トキハ命ヲ失フコトアリ、體ハ乾カシテ醫藥ニ供スベシ。

四 魚類

(一) アカエヒ 黃貂魚

全體

扁平ニシテ略菱形ヲナシ、粘滑ニシテ砂粒狀ノ鱗ヲ被リ、上面帶黑黃色、下面白色ナリ。

部分

口ハ下面ニ在リテ扁平ナル齒ヲ具フ。鰓

口モ亦下面ニ在リテ鰓蓋ナシ。眼ハ上面ニ在リテ大ナリ。眼後ニ一對ノ噴水孔アリ。胸鰭ハ左右ニ延長シ甚ダ大ナリ。臀鰭ハ一對アリ。尾鰭ハ尾端ニ在リ。尾ノ中央ニ大刺アリ、之ニ螫サル、トキハ大害ヲ被ルナリ。

常習

海水ニ住ミ、小魚介類ヲ食トス。風濤起ルトキハ之ニ乗ジテ海上ニ浮ビ尾ヲ以テ撥子テ食餌ヲ取ルト云フ。

(ニ) トラフグ (河豚ノ一種)

全體

前部圓大ニシテ後部尖小形、蝌蚪ノ如シ。

部分

口ハ小ニシテ上下腮ニ各二個ノ齒アリ、此齒ハ白色ニシテ太ク且銳利ナリ。眼ハ金色ニシテ開閉スベキ瞼ヲ具フ。背鰭一個胸鰭一對、肛門^腎尾鰭各一個アリ。尾鰭ハ小ニシテ岐分セズ、其他ノ鰭モ總テ短小ナリ。背部ハ青色ニ黒斑アリテ滑カナリ。腹部ハ白色ニシテ微細ナル刺密生セリ。頭部ニモ亦細刺アリ。

常習

海水ニ住ミ、群游シテ食餌ヲ索ム。性物ニ觸ルレバ則チ怒ル、怒ルトキハ腹部膨脹シテ細刺悉ク直立ス、蓋シ敵ヲ防グノ方便ナリ。

効用

河豚ハ總テ激毒アリ食スベカラズ。皮ハ玩具ヲ作ルニ用井ル。

(三)コチ 牛尾魚

部分

頭部ハ大ニシテ匾平ナリ。口ハ廣クシテ下腮ハ上腮ヨリ長シ、齒ハ細小ナリ。眼モ亦小ナリ。胴ハ前部稍匾クシテ後部圓長ナリ。鰭ハ硬クシテ背鰭二個胸鰭腹鰭各一對、臀鰭尾鰭各一個アリ。背鰭ノ第二ハ第一ヨリ長クシテ尾ニ達ス。尾鰭ハ小ニシテ岐分セリ。鱗小ニシテ背、灰色、腹、黃白ナリ。

常習 海岸ノ砂中ニ住ミ、昆蟲、小魚等ヲ食トス。

游泳殊ニ迅速ナリ。

効用 肉ハ食料ニ供スベシ。

(四) スヅキ 鱸魚

部分 口ハ大ニシテ尖リタル齒ヲ具フ。鰭ハ硬

クシテ銳ク、背鰭二個、胸鰭、腹鰭各一對、臀鰭、尾鰭各一個アリ。鱗ハ小クシテ白ク、黒キ斑點アリ。

常習 河海兩水ニ住ムモノニシテ夏ハ海ヨリ

河ニ上ル、是レ産卵ノタメニシテ産後ハ河ヨ

リ海ニ下リテ住ミ、昆蟲、小魚等ヲ食トス。

効用 肉ハ生食シテ味佳ナリ。腸ヲクモワタト

稱シ、鹽藏シテ食料ニ供ス。

(五) ヒラメ 板魚

全體 匾平ニシテ略、橢圓形ナリ。

部分 頭ハ小ニシテ口ニ細クシテ銳キ齒ヲ具

フ。眼ハ左側ニ在リ、胴ハ匾平ニシテ稍、狹長ナリ。背鰭一個、胸鰭、腹鰭各一對、臀鰭、尾鰭各一個アリ。背鰭ハ首ヨリ尾ニ達ス。尾鰭ハ岐分セズ。鱗ハ細小ニシテ左側黒ク、右側白シ。

常習

海岸ノ砂上ニ住ミ、小蟲、小魚等ヲ食トス。游泳スルトキニハ左側ヲ上ニシ、右側ヲ下ニ

ス。

効用

肉ハ食料ニ供シテ美味ナリ。

(六)

マダイ 棘鬣魚

全體

遍クシテ大ナリ。

部分

齒ハ銳利ナリ。鰓蓋ハ四層ヨリ成リ、倔強ナリ。眼ハ圓大ナリ。鱗ハ大ニシテ背部、淡赤、腹部、白色ナリ。鰭ハ背鰭一個、胸鰭、腹鰭各一對、臀鰭、尾鰭各一個アリ。背鰭ハ甚ダ長ク、尾鰭ハ岐

分セリ。

常習

大海ニ住ミ、小魚ヲ食トス。

効用

肉ハ美味ニシテ我國魚中ノ冠タリ。

(七)

マス 鱒魚

部分

口ハ大ニシテ内曲セル大齒ヲ具フ。背鰭、胸鰭、腹鰭各一對、臀鰭、尾鰭各一個アリ。第一背鰭ハ甚ダ小ナリ。尾鰭ハ岐分セリ。鱗ハ細小ニシテ淡青ニ赤斑アリ。

常習

河海ニ移住スルコト鱸魚ニ同ジ。性強健ニシテ游泳迅速ナリ。

効用

肉ハ食料ニ供スベシ。

(ハ) アユ 香魚

部分

頭部ハ小ニシテ尖レリ。口ハ濶クシテ齒ハ細銳ナリ。鰭ハ軟カニシテ背鰭二個、胸鰭、腹鰭各一對、臀鰭、尾鰭各一個アリ。鱗ハ細密ニシテ背部、黒色、腹部、銀白色ナリ。

常習

毎年春季、河海兩水ノ相交ル處ニ生レ、漸々河上ニ沂リ、秋季復タ下リテ死ス。性最清水ヲ好ム。食物ハ水垢、苔藻等ナリ。

効用

肉ハ美味ナリ。乾燥シタルモノヲアイギ

ヨウト稱シ、腸ヲ鹽藏シタルモノヲ「ウルカト」稱シ共ニ風味アリ。

(九) ハエ 鱒魚

部分

口ハ小ニシテ淺シ。鰓蓋ハ銀色ヲ帶ブ。胸ハ細長ナリ。鰭ハ軟カニシテ背鰭一個、胸鰭一個、腹鰭、臀鰭、尾鰭各一個アリ。背鰭ハ脊ノ中部ニ在リ、三角形ヲナス。胸鰭ハ鰓下ニ在リ、細長ナリ。尾鰭ハ岐分セリ。鱗ハ大ニシテ疎ナリ、色脊ハ淡黒ニ青ヲ帶ビ、兩側漸ク薄ク、腹白色ナリ。

常習

夏ハ河湖澗水等ニ群居シ好シテ昆蟲蠅蚊等ヲ食ス冬ハ河堤ノ石隙等ニ潜伏シテ出ルコトナシ。

効用

肉ハ煮或ハ炙リテ食料ニ供ス。

(同) マゴヒ 鯉魚

部分

口ハ甚ダ淺クシテ小ナリ、上鰓ニ鬚アリ對ヲナス。鰭ハ背鰭一個、胸鰭、腹鰭各一對、臀鰭、尾鰭各一個アリ。尾鰭ハ岐分セリ。鱗ハ大ニシテ整列シ、色背部黒色ニ綠ヲ帯ビ、腹部淡黒色ナリ。

常習

河湖等ニ住ミ、草苔昆蟲等ヲ食トス。五六月ノ候、卵ヲ生シカ爲メ淺水ヲ索メ遠ク旅行スルコトアリ、此時瀑布ノ如キ妨害物ニ逢フト雖モ能ク之ヲ經過スルナリ。蟄居スルコト鯉魚ニ同ジ。

効用

池中ニ畜フテ賞觀ニ供スベシ。肉ハ食料ニ供シ味甚ダ美ナリ。

(二) フナ 鯽魚

概子鯉魚ニ類ス、只全體匾クシテ短ク、腮ニ鬚ヲ具ヘザルノ差アリ。

(三)ドゼウ 泥鰌

全體 粘滑ニシテ鱗ナク背ハ蒼黒ニ斑アリ腹

ハ白色ナリ。

部分 口ハ淺小ニシテ兩腮ニ鬚アリ。胴ハ圓長

ナリ。鰭ハ軟カニシテ背鰭一個胸鰭腹鰭各一
對臀鰭尾鰭各一個アリ。尾鰭ハ圓クシテ岐分セズ。

常習 田溝池水等ニ住ム。好ンデ泥中ヲ潜リ時

々水面ニ浮ビテ沫ヲ吐ク。

効用 肉ハ食料ニ供シテ美味ナリ。

(三)ウナギ 鰻鱺

全體 圓筒狀粘滑ニシテ鱗ナク背黒綠腹白色ナリ。

部分 口頭尖リ口潤シ。胸鰭背鰭臀鰭尾鰭アリ、

腹鰭ナシ。鰓蓋ハ甚ダ小ナリ。

常習 晝ハ泥中又ハ孔中ニ潜伏シ、夜ハ出デ、

食餌ヲ索ム。食餌ハ昆蟲魚卵等ナリ。

効用 肉ハ炙リテ食ス、美味ナリ。

五 軟體類

(一)イカ 烏賊魚

全體 軟肉ヨリ成リ帶黒白色ニシテ粘滑ナリ。

部分

雙眼頭ノ兩側ニ在リ。口ハ頭ノ中央ニ在リテ二個ノ銳キ齒ヲ具ス。俗ニ之ヲ鳶鳥ト云フ。口ノ周邊ニ八脚ト二鬚肢アリ。八脚ハ表面滑カニシテ裡ニ多クノ疣アリ。此疣ハ物ニ吸著スルノ性アリ。二鬚肢ハ長クシテ端末ニ疣アリ。伸縮自在ナリ。脚及ビ鬚肢ハ食餌ヲ採リ或ハ岩石ニ吸著シ又ハ海底ヲ歩行シ或ハ游泳スルノ具ナリ。胴ハ厚キ肉ヨリ成リ。圓筒狀ヲナシ。内ニ墨囊其他ノ機關ヲ藏ス。背部ノ皮中ニ骨樣ノモノアリ。輕クシテ脆ク。色白シ形

狀小舟ニ似タリ。之ヲイカノカフト稱ス又俗ニイカノフ子ト云フ。

常習

海中ニ住ミ。小魚、蟲類ヲ食トス。敵ニ襲ハル、トキハ墨汁ヲ吐キテ水ヲ濁ラシ、體ヲ其中ニ隱ス。又食餌ヲ捕ルニモ墨汁ヲ吐キテ他ノ魚、蟲ヲ昏迷セシムルコトアリト云フ。

効用

肉ハ煮又乾カシテ食料ニ供スベシ。甲及ビ墨汁モ亦用ニ供スベシ。

(ニ) カタツブリ 蝸牛

貝殼

其質粗ニシテ薄ク、螺旋狀ヲナシ、孔ヲ其

一方ニ開ク。

全體

軟肉ヨリ成リ、伸縮自在ニシテ全身ヲ貝殻中ニ收ムルヲ得。

部分

口ハ頭ノ下部ニ在リテ角質ノ腮ヲ具フ。感角ハ口ノ上部ニ在リテ一對ナリ。眼ハ感角ノ上部ニ在リテ長莖ヲ有ス。胸ハ常ニ貝殻中ニ在リテ貝殻ノ形ニ從テ螺旋狀ヲナシ、諸種ノ内臓ヲ藏ス。脚ハ腹部ノ一面ヲナシ、廣キ軟肉ヨリ成リ、常ニ白色ノ粘液ヲ分泌ス。

常習

濕氣アル草木ノ堆積腐朽セル處ニ住ミ、

新葉或ハ草類ヲ食トス。他物之ニ觸ル、トキハ忽チ殻内ニ入ル。

効用

肉ハ炙リテ食スベシ。

(三)ハマグリ 文蛤

貝殻

一對アリ、兩殼同形ナレバ各殼齊正ナラズ、一方ニ凸所アリ、之ヲ嘴ト稱ス。此二殼ハ關節齒ト外靱帶トニヨリテ節合セリ。

全體

軟肉ヨリ成リ、背被即チ外套ト稱スルモノニテ蓋ハル、此外套ハ左右兩垂ヲナシ、貝殻ノ内面ニ附著セリ。

部分 口ハ體ノ前部ニ在リテ膜質ノ突起物ヲ具フ。脚ハ扁平ニシテ舌狀ナリ。水管ハ後方ニ在リテ大ナリ。

常習 海岸淺瀬ノ砂中ニ住ミ、海草類ヲ食トス。
効用 肉ハ煮或ハ乾カシテ食料ニ供スベシ。貝殻モ亦諸種ノ用ニ供スベシ。

六 多節類

(一) カブトムシ 飛生蟲

全體 橢圓ニシテ赭黑色ナリ。

部分 全體ヲ大別シテ頭部、胸部、腹部ノ三トナス。

頭部ニハ口、眼、角、感角等アリ。口ハ頭ノ下部ニ在リテ左右兩嚙腮ヲ具ヘ、咀嚼ニ適ス。眼ハ頭ノ兩側ニ在リ、大ニシテ複眼ナリ。角ハ頭上ニ在リテ甚ダ長ク、末再度岐分セリ、但雌ニハ之ヲ具ヘズ。感角ハ眼ノ前部ニ在リテ一對ヲナシ、甚ダ短小ナリ。胸部ニハ角、翼、脚等アリ。角ハ上部ニ在リテ短ク、末岐分セリ、此角ハ胸部ノ角ト相俟テ敵ヲ攻撃スルノ具ナリ。但雌ニハ之ヲ具ヘズ。翼ハ二對アリ、前對ハ堅剛ニシ

テ體形ニ適合ス故ニ之ヲ歛ムルトキハ後對
 ラ密蔽ス此翼ハ飛翔ニ適セズ唯體ヲ保護ス
 ルノ用ヲナス後對ハ膜質ニシテ前體^對ニ比ス
 レバ甚ダ大ニシテ之ヲ歛ムルトキハ則チ褶
 折ス腹部ハ數環ヨリ成リ翼ニテ蔽ハル。
常習 皂莢樹ニ群生シ孔ヲ穿チテ汁液ヲ食ト
 ス。

(ニ) クロアリ 黒蟻

部分 頭部三角狀ナリ。口ニハ銳キ嚙腮ヲ具ス。
 眼ハ複眼ナリ。感角ハ一對ニシテ屈折ス。胸部

ニハ三對ノ脚アリ。腹部ハ數環ヨリ成リ。略卵
 狀ヲナセリ。

常習 地中ニ螺廓ヲ作りテ群居シ、一群中雄蟻
 雌蟻職蟻等ノ別アリテ各特殊ノ業ヲナス。智
 慮甚ダ深クシテ亦忍耐ノ性アリ。筋力極メテ
 強健ニシテ能ク體重ニ十倍セルモノヲ運搬
 スト云フ。

(三) クマバチ 黄蜂

部分 頭部橢圓ナリ。口ニハ左右兩嚙腮ヲ具ス。
 眼ハ複眼ナリ。此兩腹眼ノ間ニ三個ノ單眼ア

リ。感角ハ細長ニシテ一對ナリ。胸部ハ黒色ニシテ二對ノ翼ト三對ノ脚之ヨリ出ヅ。腹部ハ黄茶色ニシテ大ナリ。腹部ノ後端ニ螫針アリ、甚ダ鋭ク、且毒液ヲ出ス故ニ之ニ觸ル、トキハ大害ヲ被ルナリ。

常習

樹枝或ハ堂社ノ高粱等ニ房ヲ作り、其内ニ住ム。房ノ外殻ハ圓大ニシテ形狀松皮ニ似

タリ

効用

子ハ煮テ食シ、美味ナリ。

(四)シロテフ

粉蝶

全體

柔毛ニテ蔽ハル。

部分

口ニハ螺旋頭アリ、是レ汁液ヲ吸引スルノ具ナリ。眼ハ複眼ナリ。感角ハ細長ニシテ末端稍膨大ナリ。翼ハ胸部ノ兩側ヨリ出デ二對アリ、共ニ白色ニシテ黒斑アリ、且上面ニハ微細ナル鱗アリ、肉眼ニテ之ヲ見ルトキハ白粉ノ如シ。脚ハ胸部ノ下方ヨリ出デ三對アリ、共ニ數節ヨリ成リテ細小ナリ。腹部ハ稍膨レテ長シ。

常習

夏月、菜花其他諸花ノ間ニ飛翔シ、花蜜ヲ

採リテ食トナス。

(五) カヒコノテフ **蠶蛾**

全體及部分 粉蝶ニ比スレバ全體肥大、翼小ニ

シテ感角翅狀ヲナス、其他概子之ニ同ジ。又此

蟲ハ雌雄著シク形狀ヲ異ニスル所アリ、即チ

雌ハ翼白ク感角小ニシテ蒼白、腹部膨大ナリ。

雄ハ雌ヨリ小ニシテ翼灰色ヲ帯ビ、感角黑色

ナリ。

常習 此蟲ノ幼時ヲ蠶ト云フ、桑葉ヲ食トス、稍

生長スルトキハ口ヨリ細絲ヲ吐キ、繭ヲ作り

テ其中ニ居リ、若干日ヲ經テ蠶蛾トナリ、繭ヲ

破リテ外ニ出ヅ、性雄ハ活潑ニシテ雌ハ柔和

ナリ。

効用 繭ヨリ絹糸ヲ製ス。

(六) ヤンマ **蜻蛉**

全體 大ニシテ青綠色ナリ。

部分 口ハ頭ノ下部ニ在リテ大ニシテ銳キ、兩

嚙腮ヲ具フ、嚙腮ハ強健ニシテ咀嚼ニ適ス、眼

ハ甚ダ大ニシテ頭ノ大部ヲ占メ、複眼ナリ。感

角ハ細小ナリ。翼ハ胸部ノ兩側ヨリ出デ二對

アリ、共ニ膜質ニシテ同大狭長ナリ。脚ハ三對アリ共ニ數節ヨリ成リテ細小ナリ。腹部ハ數節ヨリ成リ、細長ニシテ尾端ニ辮狀ノ附屬物アリ

常習 夏月空中ヲ飛翔シ、飛蟲ヲ捕ヘテ食トナス。

効用 害蟲ヲ除去スルノ用アリ。

(七) バツタ 蟲蠶

全體 褐色ナリ。

部分 口ニハ左右兩嚙腮ヲ具フ。眼ハ複眼ナリ。

感角ハ細長ナリ。翼ハ二對アリ、前對ハ堅剛ニシテ腹部ノ後端ニ達ス、後對ハ膜質ニシテ大ナリ。脚ハ胸部ノ下方ヨリ出デ三對アリ、後ノ一對ハ前ノ二對ヨリ長大ニシテ飛躍ニ適ス。腹部ハ數節ヨリ成リ、翼ニテ蔽ハル。

常習 原野ニ飛躍シ、小蟲ヲ捕ヘテ食餌トナス。
(八) セミ又アキゼミ 蚱蟬

全體 黒綠褐等ノ斑點相交ハレリ。

部分 口ハ細長ニシテ尖リ、嘴狀ヲナシ、下方ニ向ヘリ、是レ液汁ヲ吸引スルノ具ナリ。眼ハ複

眼ナリ。此兩眼ノ間ニ三個ノ單眼アリ。感角ハ複眼ノ下ニ在リテ細小ナリ。翼ハ胸部ノ兩側ヨリ出デ二對アリ、皆膜狀ニシテ前對ハ大後對ハ小ナリ。脚ハ胸部ノ下方ヨリ出デ三對アリ。腹部ハ數節ヨリ成リ、下方ニ二枚ノ角質ヨリ成ル所ノ發聲器アリ、但雌ニハ之ヲ具ヘズ。

常習 夏月、森林中ニ住ミ、植物ノ液汁ニヨリテ生活ス。鳴聲喧噪ニシテ聞クニ堪ヘズ。

(九) ヤスデムシ又エンガムシ 馬陸

全體 細小ニシテ長壹寸許ナリ。

部分 口ハ頭ノ下部ニ在リテ左右兩嚙腮ヲ具フ。眼ハ單眼ニシテ二個アリ。感角ハ短小ナリ。胸腹部ハ夥多ノ節ヨリ成ル、但胸腹ノ分界分明ナラズ。脚ハ節ノ下部ヨリ出デ各節ニ二對アリ、共ニ細小ナリ。

常習 隱濕ノ地ニ住ミ、植物ヲ食トス。恐懼スルトキハ全身ヲ卷縮スルノ習慣アリ。

(一) ジョラウグモ 絡新婦

全體 黄色ニシテ黒青赤斑アリテ美ナリ。

部分 頭胸部ノ分界明カナラズ。口ニ左右兩嚙

腮ヲ具フ、嚙腮ハ大ニシテ鋭ク、毒液ヲ分泌ス。脚ハ胸ノ下部ヨリ出デ四對アリ、皆數節ヨリ成リ、細長ナリ、又口ノ兩傍ニ一對ノ小脚アリ、是レ食餌ヲ口ニ入ル、トキ嚙腮ヲ補ケ、或ハ行步ノ用ヲナスモノナリ。腹部ハ膨大ニシテ殆ド橢圓狀ヲナシ、柔軟ナリ、其末端ニ近キ處ニ數個ノ突起物アリテ數多ノ細絲ヲ出ス。

常習 樹枝ノ間ニ粘質アル細絲ヲ張リテ網ノ如クシ、其中央ニ坐シ、羽蟲之ニ懸ルトキハ忽チ之ヲ殺シテ食餌トナス。性貪食ナリ。

効用

蚊、蛇ノ如キ害蟲ヲ除クノ効アリ。

(二) イシガニ、又ヤマガニ、石蟹

全體

大壹寸許ナリ。

部分

頭胸部ノ分界明カナラズ、甲殼ハ頭胸部ノ全部ヲ被ヒ上甲下甲ヨリ成リテ堅剛ナリ。口ハ頭下ニ在リテ左右兩嚙腮ヲ具フ。感角ハ眼ノ前ニ在リ、二對ニシテ短小ナリ。眼ハ頭ノ前部ニ在リテ複眼ナリ。又眼ニ長莖アリ、是レ眼ヲ動カシ、或ハ之ヲ溝中ニ入ルノ用ヲナスモノナリ。脚ハ五對ニシテ第一對ハ他ノモノ

ヨリ大ニシテ末端ニハ巨大ナル鋏ヲ具フ。鋏ノ内及ニ鋸齒アリ、餘ノ四對ニハ趾爪ヲ具フ。腹部ハ甚ダ短小ニシテ頭胸部下ニ反屈セリ。

常習 溪流ノ石間ニ住ミ、小動物ヲ捕獲シテ食餌トナス。其歩スルヤ横行ナリ。又年々甲殼ヲ脱スルコト蛇ニ於ケルガ如シ。

効用

肉ハ食スベシト雖ドモ美味ナラズ。

(三) テナガエビ 草蝦

部分

頭胸部ノ分界明カナラズ。甲殼ハ頭胸部ノ全部ヲ蓋ヒ、上甲下甲ヨリ成リ、堅剛ナリ。口

ハ頭ノ下部ニ在リテ左右兩齧^腮ヲ具フ。感角ハ二對アリ、其一對ハ殊ニ長シ。眼ハ複眼ニシテ長莖ヲ有シ、自在ニ運動スルコトヲ得。脚ハ五對アリ、就中第一對ハ殊ニ長クシテ巨大ナル鋏ヲ具フ。腹部ハ數環ヨリ成リ、各環ヨリ一對ノ權脚ヲ出ス、其最後ノ一對ハ尾ニ合シテ強大ナル尾鰭トナル。

常習

河底ニ住ミ、長脚ヲ以テ食餌ヲ捕フ。後方ニ飛躍スルノ力甚ダ強シ。生長スルニ從テ甲殼ヲ脱スルナリ。

交用 肉ハ食料ニ供シテ味美ナリ。

動物小誌終

明治十六年八月廿九日版權免許
同 年九月 出版

定價金貳拾貳錢

編者

山口縣士族

白井毅

本郷區森川町二十四番地

出版者

熊本縣士族

辻敬之

下谷區下谷仲御徒町
二丁目四十六番地

發兌

同 普

及

所 舍 普 同

京都 村上勘兵衛

發

同 藤井孫兵衛

同 佐々木惣四郎

大阪 柳原喜兵衛

兌

同 前川善兵衛

同 梅原龜七

横濱 師岡屋伊兵衛

書

神戶 船井政太郎

長崎 鶴野常造

新潟 小林二郎

肆

函館 魁文堂

武藏鴻巣 長島為一郎

上野前橋 煥平堂

發

同 高崎 博文堂鋼吉

下總千葉 花岡屋伊助

同 立真舍

兌

常陸水戸 川又銀藏

下野栃木 小林八郎

伊勢四日市 伊藤善太郎

書

尾張名古屋 片野東四郎

駿河靜岡 廣瀨市藏

遠江濱松 齋藤源三郎

肆

甲斐甲府 内藤傳右衛門

同 徵古堂

發

兑

書

肆

近江大津 小川義平

美濃岐阜 三浦源助

信濃長野 小枳屋喜太郎

岩代福島 上野屋彦太郎

陸前仙臺 伊勢屋安右衛門

陸奥弘前 武田莊七

羽後秋田 本間金之助

羽前山形 五十嵐太右衛門

加賀金澤 供田大七

越前福井 岡崎左喜平

越中富山 大橋甚吾

出雲松江 園田喜三右衛門

發

兑

書

肆

因幡鳥取 松村榮吉

備前岡山 大島勝海

安藝廣島 以文堂

周防山口 宮川臣吉

紀伊和歌山 野田太二郎

阿波德島 世渡谷文吉

土佐高知 澤本駒吉

伊豫松山 共耕分社

筑前福岡 連壁社

豊後大分 山川正三郎

豊前中津 野依曆三

肥後熊本 長崎次郎

發

允

書

肆

日向宮崎 山中支店

薩摩鹿兒島 山中支店

肥前佐賀 武富重實

肥後熊本 永田儀八郎

因幡鳥取 横山安次郎

東京 北畠茂兵衛

同 稻田佐兵衛

同 丸屋善七

同 山中市兵衛

同 石川治兵衛

同 出雲寺萬次郎

同 柳川梅次郎

發

允

書

肆

東京 東生龜次郎

同 牧野善兵衛

同 中近堂

同 内藤泰次郎

同 江島喜兵衛

同 水野慶次郎

同 金港堂

同 山中孝之助

同 博文堂庄左衛門

同 文學社

同 奎文堂

同 普及舍

並乃台痛成

